

安全データシート

作成日 2018年8月8日

改訂日 2022年7月6日

1. 製品及び会社情報

製品名 : 35%過酸化水素F
会社名 : 大盛化工株式会社
住所 : 大阪府堺市美原区多治井 633
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : 072-361-3345 FAX 番号 072-362-3659
整理番号 : TA-HQ-02

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

《物理化学的危険性》

・酸化性液体 : 区分2

《健康有害性》

・急性毒性(経口) : 区分4

・急性毒性(経皮) : 区分4

・急性毒性(吸入: 蒸気) : 区分3

・急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト) : 区分4

・皮膚腐食性/刺激性 : 区分1

・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1

・特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1

・特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1

《環境有害性》

・水生環境有害性 短期(急性) : 区分2

* 上記において記載のない危険有害性の項目は「分類対象外」、「区分外」、「分類できない」のいずれかに該当しています。

【GHSラベル要素】

《絵表示又はシンボル》



《注意喚起語》

危険

《危険有害性情報》

- ・火災助長のおそれ: 酸化性物質
- ・飲み込むと有害
- ・吸入すると有害
- ・重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- ・重篤な眼の損傷
- ・臓器の障害
- ・長期または反復暴露による臓器の障害
- ・水生生物に毒性

《注意書き》

(予防策)

- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・可燃性物質から遠ざけること。
- ・可燃物、自己発火性物質、自己反応性物質との混合を回避するために予防策をとること。
- ・異物（アルカリ、重金属、有機物、ゴミ等）を混入させないこと。
- ・環境への放出を避けること。

(対応策)

- ・飲み込んだ場合
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・皮膚(または髪)に付着した場合
直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、皮膚を多量の流水／シャワーと石鹸で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合
水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合
医師に連絡すること。
- ・気分が悪い時は医師の診断／手当を受けること。
- ・可燃物（木材、布類、紙等）に付着した場合には水で十分に洗い流すこと。

(保管)

- ・可燃物から離して保管すること。
- ・日光から遮断し涼しい所／換気の良い場所で施錠して保管すること。

(廃棄)

- ・内容物、容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。
- ・内容物は多量の水で充分希釈してから、亜硝酸ナトリウム等の還元剤あるいは金属類等と徐々に反応させ分解させた後、水濁法などに従って排水すること。（詳細はお問合せ下さい。）

(GHS分類に該当しない他の危険有害性)

- ・異物が混入すると酸素ガス及び熱が発生し、容器破損と過酸化水素飛散のおそれ。

3. 組成及び成分情報¹⁾

単一製品・混合物の区分	: 単一製品
化学名	: 過酸化水素
別名	: 過酸化水素水
成分及び含有量	: 35 wt%
化学特性（化学式）	: H_2O_2
官報公示整理番号（化審法、安衛法）	: (1)-419
CAS No.	: 7722-84-1
危険有害成分	: 過酸化水素

4. 応急措置

- ・吸入した場合
被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、医師の診断／手当を受けること。
- ・皮膚に付着した場合
汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨て、直ちに石鹼と多量の水で洗い流すこと。
皮膚の炎症やアレルギー性反応が起きた場合には直ちに医師の診察を受けること。
- ・眼に入った場合
直ちに清浄な流水で15分間以上洗浄(容易に取り外せる場合はコンタクトレンズも外す)した後、眼科医の診断／手当を受けること。
- ・飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄すること。
無理に吐かせないこと。
直ちに医師の診断／手当を受けること。
- ・急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
利用可能な情報はない。
- ・応急措置をする者の保護
指定された個人保護具を使用すること。
セクション8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
- ・医師に対する特別な注意事項
症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 消火剤 | : 粉末消火剤、CO ₂ 、水噴霧、または通常の泡消火器。 |
| 使ってはならない消火剤 | : 利用可能な情報はない。 |
| 特有の危険有害性 | : 製品は分解すると火勢助長のおそれのある酸素を放出する。 |
| 特有の消火方法 | : 粉末消火剤、CO ₂ 、砂、土、水噴霧または通常の泡消火剤。
人員を安全な区域に避難させること。
環境への放出を避けること。
消火活動からの流去水が排水管または水路に流れ込まないようにすること。 |
| 消火を行う者の保護 | : 指定された個人保護具を使用すること。 |

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置: 人員を安全な区域に避難させること。
指定された個人保護具を使用すること。
その区域を換気すること。
- 環境に対する注意事項: あらゆる下水道の中、地面下またはあらゆる水域中に侵入させてはならない。
封じ込め及び浄化の
方法・機材: 安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
区域を多量の水で洗い流すこと。
砂、土またはその他の不燃性吸収物質に吸収させて回収すること。
- 二次災害の防止策: 環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること。
すべての着火源を排除すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

《取扱い》

- ・技術的対策 : シャワー、洗眼ステーション、換気システム。特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること。
指定された個人保護具を使用すること。
- ・安全取扱い注意事項 : 取扱い後はよく洗うこと。
- ・衛生対策 : 特になし。

《保管》

- ・適切な保管条件 : 通気のよい場所で直射日光を避け、出来る限り室内の涼しい場所に貯蔵する。
異物が容器に混入しないようにする。
製品を密閉状態にしてはならない。

安全な容器包装材料 : ポリエチレン製容器(缶、ドラムなど)
 取扱い及び保管にあたり、分解を促進する材質を使用してはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

- ・管理濃度 : 設定されていない。
- ・許容濃度(過酸化水素として) : ACGIH(米国) 1ppm (TWA)
- ・設備対策 : シャワー、洗眼ステーション、換気システム。十分換気のある場所または閉鎖型システム内でのみ使用すること。
 火花を発生させない工具および防爆型の器材を使用すること。
 静電気に対する予防処置を講ずること。
 作業または装置を部分的に包囲すると共に開口部に局所換気(排気)装置を設けることにより暴露を最小限に抑えること。
- ・保護具
 - 呼吸用保護具 : 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
 - 手の保護具 : 保護手袋を着用すること。
 - 眼の保護具 : サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。
 - 皮膚及び身体の保護具 : 保護手袋および保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: 刺激臭
融点/凝固点	: -33℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 108℃
可燃性	: 利用可能な情報はない
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 2.0~3.7(20℃)
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に溶解する。
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: 3.07kPa(23mmHg 30℃)
密度及び/または相対密度	: 1.13(20/4℃)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 推奨される保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下では安定。
避けるべき条件	: 高温状態。
混触危険物質	: 塩基性物質(アルカリ性物質) 還元性物質(還元剤) 重金属類(白金、銀、マンガン等)及びこれを含有する金属材料
危険有害な分解性生成物	: 酸素

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分4 (飲み込むと有害)
急性毒性(経皮)	: 区分4 (皮膚に接触すると有害)
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 区分3 (吸入すると有害)
急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト)	: 区分4 (吸入すると有害)
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1 (重篤な皮膚の薬傷)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分1 (重篤な眼の損傷)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし [分類できない]

生殖細胞変異原性	: データなし [分類できない]
発がん性	: ACGIH(A3-Confirmed Animal Carcinogen with Unknown Relevance to Humans) IARC(Group 3)
生殖毒性	: データなし [分類できない]
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1 (臓器、呼吸器系の障害)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1 (長期にわたる又は反復ばく露による臓器、呼吸器系の障害)
誤えん有害性	: データなし [分類できない]

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: 区分2 (急性水生毒性 2.43mg/L(72 時間))
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄は適用される地方、国、地域の法律および規制に従って行う必要がある。
 汚染容器・包装 : この容器を不適切に破棄したり、再利用することは危険かつ不法である場合がある。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 2014
品名	: 過酸化水素 (水溶液)
国連分類	: 5.1 (8)
容器等級	: II
海洋汚染物質	: 非該当

15. 適用法令

化審法	: 優先評価化学物質 (法第2条第5項)
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 危険物 酸化性の物 (施行令別表第1第3号)
毒物及び劇物取締法	: 劇物 (指定令第2条)
消防法	: 非危険物
海洋汚染防止法	: 有害液体物質 Y 類物質 (施行令 別表第1)
船舶安全法	: 酸化性物質類 酸化性物質 (危険則第3条 危険物告示 別表第1)
航空法	: 酸化性物質類 酸化性物質 (施行規則第194条 危険物告示 別表第1)
労働基準法	: 疾病化学物質 (法第75条第2項 施行規則第35条 別表第1の2 第4号1)
外国為替及び外国貿易管理法	: 輸出貿易管理令 キャッチオール規制品目 (別表 第1の16の項)

・国際インベントリー

AIPC (オーストラリア既存化学物質インベントリー)	: 収載
DSL (カナダ国内物質リスト)	: 収載
ENCS (日本化審法既存化学物質)	: 収載
IECSC (中国現有化学物質名録)	: 収載
KECL (韓国既存化学物質目録)	: 収載
PICCS (フィリピン化学品・化学物質インベントリー)	: 収載
TCSI (台湾既存化学物質インベントリー)	: 収載

16. その他の情報

主要参照文献とデータの出典

- 1) ACGIH-Threshold Limit Values
- 2) U.S.-OSHA-Final PELs
- 3) 日本産業衛生学会－許容濃度の勧告
- 4) 労働安全衛生法－作業環境評価基準－管理濃度
- 5) IARC

記載内容の取扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価に関しては必ずしも十分ではなく、いかなる保証をなすものではありません。

注意事項は、通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、該当する適用法令に準じて用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

尚、無断でのインターネット上の掲載はご遠慮願います。